

『俯瞰的な眼差し』 ～ 鍛えられて実得 ～

2025年8月17日(日) 東久留米駅の東久留米ジョナサンで、ブログ『楕円形の心』を編集担当して頂いている榎本氏と昼食の時をもった。大変楽しい有意義な時となった。娘さんが『教養を深め、時代を読む ～ 楕円形の心 ～』(2023年8月31日発行 to be 出版)の『表紙の絵』を書いてくださったものである(画像)。本当に感謝である。

『われ21世紀の新渡戸とならん』(2003年発行:イーグレイプ/発売:いのちのことば社)(画像)は、榎本氏の支援で、筆者が広報誌『Scientia』に連載していた文章をまとめたものである。2003年出版記念講演会は、筆者の順天堂大学教授就任も兼ねてであった! 『がん哲学 ～ がん細胞から人間社会の病理を見る ～』(2004年 to be 出版;画像) & 『われOrigin of fire たらん』(2005年 to be 出版;画像) & 『がん哲学外来 ～ メディカルタウンを追いもとめて～』(2008年 to be 出版;画像) & 『がん哲学 ～ 立花隆氏との対話 ～』(2009年 to be 出版;画像)も、ご配慮により製本される運びとなった。『継続の大切さ ～ 本気で実現する胆力と英断 ～』には、ただただ感服である。

筆者は『21世紀の徒然草』(99回) → 『がん哲学ノート』(??回) → 『楕円形の心』(最新492回)を長年継続してきたものである。今回は、下記が鮮明に蘇った。

第2回 『何があっても、いつ、どこにあっても なくてはならない人におなりなさい』

第7回 『楕円形の心』じっくり対話する <心の診療室> ～ 『がんと生きる哲学』～

第235回 『日記をつけよ!』～ 生まれた義務～

第269回 『誠実な奉仕』～ 『喜んで無邪気に 小さなことに 大きな愛を込める』～

第276回 『継続は力なり』～ 『練られた品性と綽々たる余裕』～

第282回 『継続の大切さ』～ 『俯瞰的な眼差し』～

第284回 人生の鎔炉(ようろ)～ 鍛えられて実得～

第287回 『野の咲く花』～ 手をさしのべる～

第289回 夢・ビジョン～ 先人をたどる意義～



